

1. 化学物質等及び会社情報

製品情報

製品番号	製品名 (製品現物は英文表記)
50542、50543	SYPRO® Red
50556	SYPRO® Tangerine Protein Gel Stain
50512、50513	SYBR® Green I
50522、50523	SYBR® Green II
50535	GelStar® Nucleic Acid Stains
50560	GLYOXAL SAMPLE BUFFER
PT-7009	Adipored™ Assay Reagent
VPA-1006	Mouse T cell Nucleofector kit
VZB-1001	Mouse T cell Nucleofector Medium

会社情報

会社名 : ロンザジャパン株式会社 バイオサイエンス事業部
住所 : 〒104-6591
東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー
電話番号 : 03-6264-0660
FAX番号 : 03-6264-0601

2. 危険有害性の要約

ジメチルスルホキシド100%として (CAS番号 : 67-68-5)

GHS分類区分

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 : 区分3
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分2B
特定標的臓器毒性 (反復暴露) : 区分2 (皮膚、肝臓、血液)

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



健康有害性

注意喚起語 : 警告

ジメチルスルホキシド 含有製品 (個別製品名は下表の通り)

Version 010
改訂日 2015年11月13日

危険有害性情報	:	軽度の皮膚刺激 眼刺激 長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (皮膚、肝臓、血液) の障害のおそれ。
注意書き	安全対策	: 取扱い後はよく手を洗うこと。 粉塵、ヒューム、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
	応急措置	: 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
	保管	: 情報なし
	廃棄	: 内容物、容器は許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

3. 組成及び成分情報

【含有する化学物質の名称】 ジメチルスルホキシド (Dimethylsulfoxide、DMSO)

【含有率】 下表に示すとおり

含有率 [w/v%]	含有製品の製品コード	製品数
99.9~100%	50512、50513、50522、50523、50535、50542、50543、50556、PT-7009、VPA-1006、VZB-1001	11
50%	50560	1

単一の化学物質 / 混合物 : 混合物 (表中12製品すべて)

危険有害成分

成分	化学式	化審法官報公示 整理番号	安衛法官報公示 整理番号	CAS番号
ジメチルスルホキシド	C ₂ H ₆ OS	(2)-1553	公表	67-68-5

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所へ移動する。呼吸が止まっている場合は、気道を確保して人工呼吸を施す。呼吸が困難な場合は、酸素を吸入する。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに水と石鹼で十分に洗う。汚染された衣類や靴を脱ぐこと。症状が現れた場合は、医師の診断、手当てを受けること。衣類や靴を再使用する場合には洗濯すること、又は更なる暴露を制限する方法として廃棄する。
- 眼に入った場合 : 眼に入った場合、直ちに多量の水で、少なくとも15分間洗い流す。眼刺激が続く場合は、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。医師の指示による以外は吐かせないこと。意識がない場合、何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、水噴霧、又は周辺火災には二酸化炭素
- 特有の危険有害性 : 可燃性液体。この製品の引火点以上の温度では、蒸気は空気と爆発性混合気を形成することがある。容器又は包装は火災により爆発的に破裂するおそれがある。
- 特有の消火方法 : その区域から避難すること、及び消火活動は安全な距離から行うこと。
- 消火を行う者の保護 : 認可された陽圧自給式呼吸器及び全身保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 着火源は全て取り除くこと。皮膚、眼と接触しないこと。必要に応じて個人用保護具を使用すること。漏洩区域を隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 環境に対する注意事項 : 下水溝又は排水溝への流入を最小限に抑える。適用可能な場合、排出を制限できるように言及する。
- 回収・中和 : 着火源は全て取り除くこと。MSDS及びラベルの注意事項を守り、漏出物は直ちに回収すること。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 必要に応じて吸収剤を使用し、化学品廃棄容器に入れ処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 情報なし
- 局所排気・全体換気 : 情報なし
- 安全取扱い注意事項 : 可燃性液体。火花、熱、炎のもののような着火源から遠ざけること。換気の十分な場所で使用すること。大量の製品を輸送する際には、すべての容器を接地すること、アースをとること。眼、皮膚、又は衣類に付けないこと。取扱い後は、よく手を洗うこと。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。残留物に製品が含まれているおそれがあるため、容器又は包装容器を空にし、すべてのMSDS及びラベルの注意事項に従うこと。
- 接触回避 : 全ての着火源を避けること。

保管

- 技術的対策 : 情報なし
- 混触禁止物質 : 情報なし
- 保管条件 : 使用しない時は、容器を密閉しておくこと。冷凍 (-20°C) で保存すること。特に溶解物は、直射日光を避けて保管すること。可燃性液体のため、OSHA規格、NFPAガイドライン、又は他の規定条件などに従って保管すること。
- 容器包装材料 : 情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度

未設定

保護具

- 呼吸器の保護具 : 必要に応じて認可を受けたろ過式呼吸用保護具を使用すること。呼吸器の選択、使用、制限を決定するために、呼吸器製造者に相談する。
- 手の保護具 : 必要に応じて化学品用の保護手袋を着用すること。
- 眼の保護具 : 保護眼鏡を着用すること。眼に付着しそうな場合は、化学品用の保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 衣類及び皮膚への付着を最小限に抑えるために、必要に応じて、衣類を覆う清潔な全身保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

ジメチルスルホキシド100%として (CAS番号 : 67-68-5)

物理的状态

形状	: 液体
色	: 無色
臭い	: 僅かな臭い

安全性データ

pH	: 情報なし
沸点	: 189°C
融点	: 18°C
引火点	: 89°C (密閉式)
粘度	: 情報なし
自然発火温度	: 573°C
相対蒸気密度	: 2.7 (空気=1)
蒸気圧	: 0.42mmHg
比重 (密度)	: 1.101 (水=1)
分配係数	: 情報なし
溶解度 (水、溶剤など)	: 水 混和

10. 安定性及び反応性

安定性	: 安定
反応性	: 情報なし
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 強酸化剤、酸、塩基との接触を避けること。着火源を避けること。
混触危険物質	: 強酸化剤、酸、塩基
危険有害な分解生成物	: 二酸化炭素、硫黄

11. 有害性情報

ジメチルスルホキシド100%として (CAS番号 : 67-68-5)

急性毒性 (経口)	: LD ₅₀ 値=14,500mg/kg (ラット)
急性毒性 (経皮)	: LD ₅₀ 値=40,000mg/kg (ラット)

化学物質等安全データシート (MSDS)

LBS012

ジメチルスルホキシド 含有製品 (個別製品名は下表の通り)

Version

010

改訂日

2015年11月13日

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 軽度の刺激性 500mg (ウサギ、24時間)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 軽度の刺激性 500mg (ウサギ、24時間)
生殖細胞変異原性	: 陰性 (Ames試験) 陰性 (染色体異常試験) 陰性 (姉妹染色分体交換 (SCE) 試験)
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	: 血液、肝臓、腎臓、眼球に影響あり (動物の暴露調査、高用量)

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報なし
残留性・分解性	: 情報なし
生体蓄積性	: 情報なし
土壌中の移動性	: 情報なし
オゾン層への有害性	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 使用していない製品、残留物、及び容器等は自治体の規定に従い、廃棄処分する。
汚染容器及び包装	: 許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

国際規格	
海上規制情報	: 該当しない
国連番号	: 該当しない
航空規制情報	
国連番号	: 該当しない
特別安全対策	: 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 該当しない
化学物質管理促進法	: 該当しない
消防法	: 第2条危険物第4類第3石油類水溶性液体 (4, 000L)

16. その他の情報

【作成年月日、改訂情報】

作成年月日 : 2011年04月11日
改訂日 : 2014年11月13日

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。
また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。